

法政大学が新冠町で サラブレッド産業に触れるフィールドワークを実施



9月9日から12日の4日間、法政大学の学生9名が新冠町でサラブレッド産業に触れるフィールドワークを行いました。この取り組みは、錦岡牧場が永年、法政大学の馬術部に引退競走馬を寄贈していたことがきっかけで実現しました。

初日は町長へ表敬訪問を行い、その後、学生たちは新冠町の情報と牧場マナーを学び、いっかつポホシリ乗馬クラブで乗馬体験をしました。学生は全員「競馬は好きだが、サラブレッドに触れたことがない」という共通点があり、初めてサラブレッドに触れる機会となりました。

2日目からはサンローゼン、竹中進一牧場、中地牧場、ナスノファーム、豊栄牧場の5牧場に学生たちが分れて、2日間の作業体験が始まりました。最初は怖がっていた学生たちも次第に慣れ、また大変な牧場の作業にも「やりがいを感じ前向きに取り組めた」と述べるなど多くの事を経験している様子でした。

最終日には牧場で成果発表が行われ、学生たちは3日間の滞在で感じた町の課題点と解決策を発表しました。発表を見に来た牧場関係者からも現状を聞くなど最後まで町をより知ること



町長と記念撮影をする法政大学の学生と高見教授

に努め、最後にまちづくりに対する提言を発表しました。

発表後、学生たちはキタジヨファームの育成施設を見学し、門別競馬場を訪問しました。今後、学生たちはフィールドワークに基づく小論文を作成する予定です。

学生たちは「貴重な体験だった」「静かでリラックスできた」「人が温かい」「就職の選択肢が増えた」と感想を述べていました。今回の経験を通じて新冠町に興味を持ち、周りにもその魅力を伝えてほしいと思います。

法政大学は最後に、「学生が貴重な経験を得ることができたのは、受け入れ牧場の深いご理解と支援のおかげです」と牧場の皆さまの協力を深く感謝し、北海道をあとにしました。

の向上に努めます。

本調査は、児童生徒が身に着けるべき学力の一部分の傾向であることや、調査結果は、学校における教育活動の側面であることから、これらの調査結果と他のさまざまな情報を合わせて、総合的に分析・評価することが必要であり、個々の設問や領域などに着目して、学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人一人の学習意欲の向上につなげるのが重要となります。

各校においては、本年度の結果を踏まえ、校長を中心として、教職員が詳細な結果分析を行い、共通認識を持った上で、今後の授業改善や、家庭学習の定着化に向けた取り組みを強化していくこととしております。

また、当町では各校の結果分析などを受けて、教職員で組織する学力向上推進委員会において、町としての分析と課題整理を行った上で、目標を定め町全体として共通の取り組みを行います。

なお、調査結果の詳細については、町広報誌において、今後の改善策を含め、改めて公表する予定です。

3 中体連全道大会および各種大会の出場結果

新冠中学校では、本年度、陸上、柔道、サッカー、男子バレーボールの4種目が、中体連全道大会への出場を果たしました。

各種目において健闘され、男子バレーボールでは、決勝トーナメントまで駒を進めましたが惜しくも1回戦で敗退となり、そのほかの競技も1点を争う好ゲームを繰り広げるなど、生徒たちは日頃の練習の成果を発揮しながら奮闘しました。

また、吹奏楽部においては、「日胆地区吹奏楽コンクール」に出場し、結果は惜しくも銀賞となりましたが、安定した演奏を披露し、社会教育と連携した吹奏楽指導による成果であると感じております。

各種大会へ出場した生徒たちは、緊張感溢れる会場において、技術力や精神力の面で多くのことを学ぶ貴重な経験となったものと思います。

教育委員会では、全道大会などへの選手派遣に係る費用は全面的に支援しているところですが、本定例会において今後出場を予定している大会に係る費用について補正予算を計上しておりますので、ご理解のほどよろしく願います。

4 感染症の拡大に伴う認定ことも園下・レ・ミのクラス閉鎖

新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが、季節性インフルエンザ等と同等となった昨年5月以降も、認定ことも園下・レ・ミでは、引き続き感染症対策に留意しながら園運営を行っているところですが、本定例会において今後出場を予定している大会に係る費用について補正予算を計上しておりますので、ご理解のほどよろしく願います。

5 レ・コード館展望塔「喫茶ぶれす」の閉店と後の運営

レ・コード館展望塔は、平成23年から新冠町観光協会と施設の使用貸借を行っているところですが、当該感染症のほか、溶連菌感染症や手足口病といったさまざまな感染症の発生が見られます。

9月に入り、2歳児クラスにおいて、新型コロナウイルスや季節性インフルエンザ、また発熱などによる欠席児童が増え、休業目安として2割を超える4名の欠席者となったほか、当該クラスの担当する複数の保育士などへの感染も確認されました。

このことから、職員体制が整えることが困難であることや、感染拡大の防止を図る上でも当該クラスについては当面の間、個別事情による保育要望を除き、児童受入れの休止が適切であると判断し、9月4日から7日までの4日間、2歳児クラスを閉鎖する措置をとりました。

ド・レ・ミにおける教育・保育活動においては、今後も手洗いや消毒液を用いた小まめな拭き掃除など基本的な感染症対策を継続し、状況に応じて感染対策を強めるなど、子どもたちと保護者が笑顔で安心して通園できる園運営に取り組みますので、ご理解のほどよろしく願います。

貸契約を交わし、観光協会の会員である社会福祉法人新冠ほくと園が「喫茶ぶれす」を開設しております。

平成30年に新冠ほくと園より、利用者数減少による収入減や人員確保の問題により閉店の申し入れがありました。しかし、展望塔の警備体制が整わないことから、有償での管理委託も兼ね運営を再度申し入れ、継続して営業を続けていました。

しかし、コロナ禍の影響もあり、売上が少なく採算が取れない厳しい経営が続いていること、隣接する「いっかつキッチン」内での同一店舗の出店もあり、人員が確保できないなどことから、昨年11月、再度、閉店の申し出がありました。

このことを受け、観光協会も交えて協議を行いました。継続は難しいとの結論から、閑散時期に入る前の8月末までの営業を依頼し、閑散期となる9月から3月の間、展望塔は無人工として、新たに監視カメラの設置や人型ロボットを配備するなどして観光案内や防犯対策を講じて運営することとしました。

なお、次年度4月から喫茶および管理委託を請負う企業、個人および団体について、本年10月から募集する予定としております。

町民の皆さまには、その間、ご不便をお掛けしますが、ご理解のほどよろしく願います。